

## 平成 30 年度第 1 回高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の要旨

日 時：平成 30 年 7 月 20 日（金）18：30～20：00

場 所：高知県庁 2 階 第 2 応接室

出席者：委員 12 名

### 議 事

#### （1）医療機関の耐性菌・抗菌薬の状況把握について

<説明（中村委員）>

以下の項目についてご説明いただいた。

- （i）研究会の概要について
- （ii）拠点病院における大腸菌の一部について
- （iii）拠点病院における緑膿菌の一部について
- （iv）参加全施設における大腸菌の一部について

<説明（八木委員）>

以下の項目についてご説明いただいた。

- （i）高知県内施設の抗菌薬AUDサーベイランス結果と評価について
- （ii）地域毎の各抗菌薬AUDの平均値について
- （iii）主要 6 施設AUD・耐性化率の評価について
- （iv）研究会参加 29 施設のAUD・耐性化率の評価について

#### （2）平成 30 年度高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク事業について

<説明（事務局）>

- ・高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議、高知県 I C N ネットワークの会は、定例会としては年 2 回とし、必要時には臨時会議を開催する。エリアネットワーク活動は、今年度も全てのエリアで取組を継続する。
- ・高知県医療関連感染対策相談対応事業で実地支援の必要な相談等があった場合は、支援をお願いしたい。
- ・県全体の研修は年 1 回とし、エリアネットワーク活動を重視した取組を行う。
- ・各種ワーキングは、必要時に随時実施する。

#### （3）高知県医療関連感染対策相談対応事業について

- ・「高知県医療関連感染対策相談対応事業パンフレット」は内容に大きな変更はないが、I C N の方の

写真が更新された。

<委員からの質問・意見等>

①Q：今までの相談状況はどうか。

→A：H30年度は現時点で相談はなし。H29年度は、相談1件、実地支援1件であった。

#### (4) 医事薬務課ホームページの掲載内容について

<説明（事務局）>

- ・医事薬務課ホームページの医療関連感染対策（院内感染対策）のバナーを更新した。  
変更後：オレンジ色の背景にカツオ人間のイラストを掲載したバナー
- ・「医療関連感染対策Q&A」について、ICNネットワークの会の皆さまに「個人防護具に関する相談」、「職業感染対策に関する相談」、「ウイルス対策に関する相談」、「耐性菌対策に関する相談」の項目、計5つの相談を作成いただいた。
- ・相談3「家庭内の感染予防について」について本日欠席の委員からの意見を事務局から説明。

#### 【委員からの意見】

- (i) 「手洗いに加えて、調理器具やトイレの便座と手すり・ドアノブを漂白剤（ハイター®、ブリーチ®など）で消毒してください。」とあるが、金属は腐食するので一定時間後拭き取った方が良いのではないか。漂白剤はアルカリ化してあるので、基本拭き取る必要性が高いと考えられる。
- (ii) 「小さな子供さんが布団で嘔吐してしまったら専門業者に洗濯をお願いしてください。」とあるが、専門業者の具体的なイメージが難しいのではないか。家庭で利用するという前提で大きなバケツかたらいで次亜塩素酸ナトリウムへの浸漬が現実的かもしれない。なお、ノロウイルスについては衛生研究所が作成した高知県ノロウイルス対策マニュアルがある。

<委員からの質問・意見等>

(i) について

①次亜塩素酸ナトリウムを使用すると錆びるので拭き取るのは大事だと思うが、ここでは具体的な消毒方法は掲載していない。次亜塩素酸ナトリウムの実際の使い方、濃度等の詳細は必要か。高知県ノロウイルス対策マニュアルは具体的に記載されており、P25に「次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。金属製品は10分後に水ぶきしてください」とあるので、マニュアルを参考文献として掲載し、具体的な方法はマニュアルを確認してもらうようにしてはどうか。

→A（衛生研究所）：ホームページに掲載しているのでリンクを掲載して問題ない。

(ii) について

①P24に「汚物（おう吐、便）で汚染された衣類・雑巾は」という項目がある。

②Q：具体的な専門業者とはなにを指すか。

→A：クリーニング業者が想定される。

クリーニング業の中に消毒の許可に関する届出がある。実施可能ではあるが、引き受けてもらえるかは分からない。コインランドリーは、お湯といっても、ノロ対応は難しいと思う。乾燥の時間と温度までは分からない。

## 結 論

- 詳細はマニュアル参照とする。

### (5) エリアネットワーク活動について

<各エリアから説明>

#### ①安芸エリア（安芸福祉保健所）

- ・第1回安芸地域院内感染対策における合同カンファレンスを高知県立あき総合病院やまのホールにて6月8日に実施した。今後8月、11月、1月に開催予定としている。春期は麻疹について、冬期はインフルエンザ等、その時期に流行している感染症についてカンファレンスを行っている。
- ・第1回研修会は9月頃に高知県立あき総合病院で手指衛生について、第2回研修会は10月頃に安芸総合庁舎で吐物処理について実施予定。

#### ②中央東エリア（中央東福祉保健所）

- ・中央東エリアでは、5月16日に高知大学医学部附属病院感染管理部にて武内委員、有瀬委員と中央東エリア医療関連感染対策地域支援ネットワーク検討会を開催した。内容は、平成28、29年度中央東エリアのネットワーク活動の振り返りと、平成30年度の中央東エリアネットワーク活動についてどのように進めていくのかを検討した。
- ・平成30年度は中央東エリア医療関連感染対策研修会を2回開催予定としている。  
第1回研修会は、7月29日に「全ての医療者が知っておくべき標準予防策の実際～手指衛生やマスク・手袋の正しい使い方～」として、講義とグループワークを予定している。現在、63名が参加予定。第2回研修会は11月10日14:00～16:00、中央東福祉保健所2階会議室で環境衛生について（題名未定）、講義とグループワークを行う予定としている。

#### ③高知市エリア（高知市保健所）

- ・高知市エリア医療関連感染対策研修会は10月21日に総合あんしんセンター3階大会議室で開催が決定している。内容としては、高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク事業についての説明、ICNによる医療関連感染対策に関する講義の後、ネットワークメンバーによる寸劇「吐物処理の仕方」、その後、グループディスカッションを予定している。構成は昨年度と同様のスタイルであり、昨年度大変好評であったことから今年度も同じ形とした。
- ・第1回高知市エリア検討会は6月15日に総合あんしんセンター3階中会議室にて実施し、研修会の具体的な進め方について検討いただいた。第2回高知市エリア検討会は9月頃に研修会について具体的に検討し、第3回高知市エリア検討会として平成31年2月頃に平成30年度の活動につ

いてご意見をいただく予定としている。

④中央西エリア（中央西福祉保健所）

- ・中央西エリア検討会は、8月30日で現在調整をしている。場所は国立病院機構高知病院、内容としては須崎福祉保健所と合同で、平成30年度中央西エリア医療関連感染対策研修会の詳細について検討する予定。
- ・研修会は、エリア検討会の結果を踏まえて実施することとしている。

⑤須崎エリア（須崎福祉保健所）

- ・中央西エリアと合同で進めている。

⑥幡多エリア（川村委員）

- ・研修会を今年も実施の方向で検討中。今後、幡多福祉保健所担当者と相談する予定。
- ・幡多地域感染管理ネットワーク（メーリングリスト）による感染症等の情報提供・共有を行っているが、さらなる情報発信のため新規の登録者の呼びかけを6月に行った。登録されていなかった病院、有床診療所の計8機関に呼びかけ3機関が新規登録された。できれば全ての医療機関に参加してもらえよう、今後も呼びかけをしていく予定としている。

## （6）高知県医療関連感染対策研修会について

<説明（事務局）>

（i）今年度の研修会について

- ・メーリングリストでご相談させていただいた結果、賛成意見が多かった「病院や施設での清掃と感染制御等」について、菅原えりさ先生にご講演をいただく予定。
- ・対象者は病院、医科及び歯科診療所の職員で、開催日時や会場を調整中。

（ii）次年度以降の研修会について

- ・取り上げると良いテーマについてご意見をいただき、実施計画を立てたい。今後、どのような内容で実施していくか、ご意見をいただきたい。

<委員からの質問・意見等>

- ①研修会のテーマに災害時の感染対策について実施してほしい。
- ②今年度は西日本豪雨災害があり、災害は地震に限らない。災害対策については今年または来年で菅原先生に聞いて、ぜひ取り上げてもらいたい。

### 結 論

- 菅原先生と事務局で調整する。
- 次年度以降については、メーリングリスト等で事務局から意見をお聞きする。

## (7) 平成 30 年度高知 AMR 対策セミナー（仮称）について

<説明（豊田副所長）>

- ・豊田副所長は AMR 対策等推進事業という研究班に入っている。昨年度から、AMR 対策のセミナーについて各県単位でセミナーを開催して、モデル的な取組をすることが活動の一つとなっている。今年度は佐賀、大分、青森、茨城県等で AMR 対策セミナーを開催することとなっているが、高知県でも開催してはどうかと声かけがあり、事前に北村会長にも相談させてもらった。
- ・平成 30 年度高知 AMR 対策セミナー（仮称）の目的は、高知県における AMR アクションプランの成果目標達成を目指すこととする。研究班の班長からは、高知県は高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議が非常に良い活動をしているので、ネットワーク会議の協力を得て、自由に企画してもよいという内諾をもらっている。
- ・対象者は、感染防止対策加算 1 の病院の ICT 4 職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師）、高知県薬剤師会会員、高知県臨床検査技師会会員、サーベイランス研究会（加算 1 以外）、高知県・市保健所職員（医療法、感染症法担当）とし、講演に加えて、「高知の AMR アクションプランの現状、課題について」の報告を考えてみてはどうかと助言をもらった。開催日については参加者が参加しやすいように、金曜日の 17 時以降か土曜日で総合あんしんセンターでの実施を考えている。以上は班長、具先生に了承をいただいている。

<委員からの質問・意見等>

① Q：報告のイメージはどのようなものか。

→ A：報告は決まった内容ではない。高知県の現状について、集まった方で情報共有することが AMR 対策につながると考えている。いくつかの拠点病院から発表いただけるのが一番良いのではないかと考えている。また、議事「(1) 医療機関の耐性菌・抗菌薬の状況把握について」でご説明いただいた内容を追加でご報告いただくと参考になると考えている。最終的に具先生にコメントをいただくと、研究班の元々の目的である AMR 対策セミナーにつながるのでご検討をお願いしたい。

② 日程について、金曜日は夜間開催で遅くなるので土曜日が良いのではないかと。

### 結 論

- セミナーの内容は、豊田副所長と会長、副会長、事務局で進めていく。
- 開催日は具先生と豊田副所長に決めていただく。

## (8) その他

(i) Q：歯科医師の先生方の中でも AMR について話題になっている等はあるか。

→ A：薬の使用種類は 4～5 種類程度で多くない。抜歯後や腫れた場合は使用する。  
歯周炎で腫れた場合は使用するが多剤ではない。

(ii) 災害時の対応について

Q：7月の豪雨災害に関して、特に幡多地域や安芸地域の被害があったが、災害時対応について感じたこと等はあるか。

→A1：幡多地域について

幡多地域では避難所が一時開設されたが、すぐに解除された。大月町の海沿いで崖崩れがあり、2名被害があった。宿毛市の西はずれの地域が浸水した。1週間から10日程度で落ち着いた。

→A2：安芸地域について

安芸地域では、一部が浸水し現在も避難所が開設されている。

発災当時、透析患者が避難所に避難し、診療所から患者に連絡をとったところ連絡がとれなかった。診療所からの相談を保健所に受け、保健所が避難所に患者を探しに行った。患者はタクシーで診療所へ行ったとのことであったが、診療所に患者はいなかった。結局、透析患者2名のうち、1名は医療機関へ向かったが、1名は別の場所へ移動していた。

また、安芸市で床上・床下浸水があり、保健所へ消毒指導の依頼があった。逆流石けんの噴霧器の活用については、きれいに泥がとれておらず効果は疑問が残るところであったが、住民からの要望を受け消毒を行った。

その他の状況：ドクターヘリが2回飛び、安芸の透析患者を搬送した。高知県のDMATは愛媛県に行ったが、愛媛県では開業医の先生方が診療できていた。各県のエリアの中で完結できるということから、DMAT・JAMTは引き上げることとなった。

(iii) 施設の感染管理について

<説明（事務局）>

- ・施設に対しては、高知県地域福祉部福祉指導課が指導監査を行っている。老人福祉法や特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準、高知県特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の中に、感染症の予防及びまん延を防止する為の措置を講じることとされており、指導監査の中に感染管理の項目が含まれている。
- ・施設内で感染症が集団発生した場合には、保健所を通して高知県健康対策課や衛生研究所に報告があり、また、施設からは高知県高齢者福祉課へ報告され、状況により健康対策課と高齢者福祉課で情報共有を行っている。
- ・県内特別養護老人ホーム数は70数施設あり、各施設にはかかりつけ医もいるが、「あらかじめ協力病院を定めておかなければならない」とされており、施設内での感染症対策の困りごとは、協力病院に相談しながら対応している。

<委員からの質問・意見等>

- ①特老は協力病院という形で、なにかあった時にはエリア内で相談できる対応が取れると良いと

思う。老健は病院併設が多く、ネットワークがうまく活用できるのではないか。

②Q：病院が無くなり有床診になっていくというのであれば、そのエリアの中で相談していけると良い。立入検査ができていないのは高知市の診療所であるが、今後の課題となる。今後の方向性はどうか。

→A：高知市では立入検査がなかなかできていない。有床診療所は実施していかなければならないと考えているが、無床診療所に関しては自己点検チェックシートを研修会という形で活用してもらおう方向で検討している。

③今後、感染対策研修会に施設の方も巻き込んで取り組んでいきたい。

④感染対策はコストがかかるので、管理者に出席してもらわないと効果は上がらない。

問題になるのは管理者の理解と支援で、それが進まないと感じると感染対策も医療安全も進んでいかない。管理者へ県からも案内をしてほしい。

#### 事務連絡

・平成 30 年度第 2 回医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の日程調整は、事務局から連絡する。